いっとうぱわぁー

2021年1月 Vol.55

MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN MAN to MAN

志望校 100%合格 を目指して!!

ITTO呉広校の中３生みんなの受験に向けての意気込み！

早いものでもう1月となりました。中３生にとって初めての経験となる入試に向けての意気込みを聞いてみました！

分からないことがあったら積極的に質問し、理解できるまで解き直すようにしています。絶対に合格できるように頑張ります。コロナやインフルに負けません！！（I・I）

苦手な教科など分からない所があれば先生に聞いて、理解するようにしています。１日あたりの勉強する時間を増やして受験に向けて頑張っています。合格できるように頑張ります！（M・H）

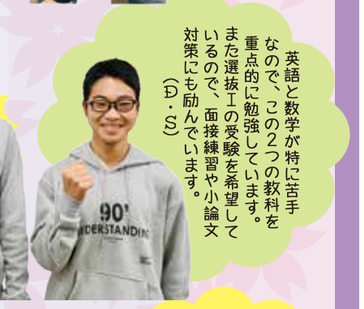
１年２年の頃よりも自主的に学習し、勉強にあてる時間を増やしています。必ず志望校に受かるように最後まで油断せず強い気持ちで受験に臨みたいです。（S・T）

夢をつかむために死ぬ気で問題を解きまくりたいです！！効率よく！ひたすらに！楽しみながら自分をレベルアップさせていきたいです！！（R・T）

絶対にその高校に合格する！！という気持ちで勉強する。全教科点数を少しでも上げる！！（F・S）

自分が苦手な英単語や語句などを入試までに自信を持って答えられるように覚える。（K・O）

毎日勉強を２時間以上する。入試で自分の目標点をとる。（R・S）



英語と数学が特に苦手なので、この２つの教科を重点的に勉強しています。また選抜Ⅰの受験を希望しているので、面接練習や小論文対策にも励んでいます。（D・S）

数学の証明問題や国語の古文など、自分の苦手なところが理解できるように頑張りたいです。（S・K）

入試に向けて苦手な教科が出来るようになるように頑張りたいです。（D・M）

これから基礎を見直して応用問題も解けるように頑張る！（Y・T）

選Ⅰの小論文の練習と、苦手な英語と数学の分からない所がなくなるように頑張ります。（J・S）

国語の文章問題や数学で間違ったところを二度と間違わないように何度も勉強しています。（M・A）

それぞれの教科で苦手な部分を少しでも出来るように頑張ります。（Y・S）

苦手教科の復習を頑張ります！（S・M）

苦手教科を克服し得意教科をより伸ばして高校入試に向けて頑張ります！（S・A）

苦手な科目の暗記と筆記問題が解けるように頑張ります！（S・O）

今まで１時間くらいしか自宅勉強をしていなかったけど、入試に向けて、毎日４時間はやるようにしています！（T・K）

今まで以上に勉強を頑張りたい。（Y・K）

苦手教科を少しでも克服できるように頑張ります。（S・A）

入試に対してしっかりと向き合って試験勉強に取り組んでいる生徒ばかりで私としては非常に頼もしく嬉しい気持ちで一杯です。生徒達の気持ちに応え、皆が志望校に合格できるよう、これまで以上に努力して参りますので、保護者の皆様には、ご家庭での健康面、精神面でのケアを宜しくお願い致します。　ITTO個別指導学院呉広校教室長　大崎朋宏

2021年度 広島県公立高校入試（選Ⅱ）の仕組み

～内申点と学力検査の活用法～

早いもので今年度もいよいよ受験シーズンとなります。**１月には呉市内の私立高校の入試**が行われ、**2月は公立高校選Ⅰの入試（2月3日）**、そして**3月には選Ⅱ（3月8日・9日）**が行なわれます。そこで、受験生は勿論、中１、中２生の皆さんにも入試の仕組みをお伝えしたいと思います。まず何と言っても公立高校の入試は５段階評価の通知表（内申点）が重要です。

内申点は130点満点

	1年	2年	3年
点数	65点	65点	65点
合計点	195点満点		
調整	合計点×130/195＝130点満点		

主教科（英、数、国、理、社）は５点×５教科＝25点
副教科（技家、美術、音楽、保体）は５点×４教科×２倍＝40点
これで１年間では25点＋40点＝65点、３年間では195点満点となります。そしてこの合計点に調整を行なうことで130点満点としています。

学力検査は125点満点

	国語	社会	数学	理科	英語
得点	50点	50点	50点	50点	50点
合計点	250点満点				
調整	合計点×1/2 ＝125点満点				

入試当日の学力検査も調整を行ない、
（国語50点＋社会50点＋数学50点＋理科50点＋英語50点）÷2＝125点満点とします。

	内申点	学力検査
調整前	195点	250点
調整後	130点	125点

調整後の点数は**ほぼ同等！**

「内申点と学力検査をほぼ同等に扱う」ことで、中学校3年間の成績をバランスよくきちんと見ることが出来るようになりますので各公立高校は「内申点」と「学力検査の点数」の合計を基に合否を判定します。
以上の事からも、内申点、つまり通知表の点数（定期試験の結果、提出物…等）が重要なのが分かると思います。
この様に、早い段階で受験の仕組みを知ることは、志望校合格に向けて非常にプラスとなりますので、受験生の皆さんは勿論のこと、他の生徒さんも今一度これからの勉強に対する取り組みを考えてみてください。

日頃のご愛顧、誠にありがとうございます。
ITTO呉広校ではニュースレターを通して私共がどの様な考えでお子様と接し、活動しているかを皆様にお伝えしたいという思いで講師がそれぞれの記事を担当し季刊発行しております。より良い教室作りの為にもご意見・ご感想を頂ければ幸いです。
つきましては、恒例の「新春お年玉プレゼント」を今年も企画いたしました。
詳しくは別紙をご参照ください。多数のご応募を楽しみにお待ちしております。

ITTO（イットー）個別指導学院 呉広校
呉市広古新開7-35-10
0823-69-5966